

カリキュラム区分		3カリ			シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位	
		学年	学期						
専門分野	M216	1年	通年	看護学	選択	成人看護学演習	60	2	
						Seminar on Chronic & Critical Nursing for Adults			
担当教員									
中西 純子		松井 美由紀							
関連するDPキーワード（看護学専攻）									
☐	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。								
☐	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。								
☐	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
☐	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）									
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。								
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。								
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
授業目的									
特論で学修した概念や理論についての理解を深め、研究につなげられるよう、論文クリティークできる力やフィールドスタディの企画・実行力を身に付ける。									
到達目標（授業目標）									
①文献レビューを通じて成人看護学領域の主要概念について研究の動向について述べることができる。									
②指定図書の精読を通じて、著者の主張を読み取り説明できる。									
③論文クリティークの視点・方法がわかり、研究論文の長所・課題を読み取れるようになる。									
④フィールドスタディの企画書を作成でき、実施に必要な手順を踏むことができる。									
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	ガイダンス：成人病者の看護経験について体験交換を行う。（中西・松井）								
2回	指定図書の精読①「病の語り」の著者紹介、序文・はじめにから、著書の目的や背景を読み取る。（教員の講義）（中西・松井）								
3回	指定図書の精読②「病の語り」 1 章 内容の読みとり（教員の講義）（中西・松井）								
4回	指定図書の精読②「病の語り」 2 章 内容の読み取り（教員の講義）（中西・松井）								

5回	指定図書の精読③「病の語り」4～8章のうち学生が選択する章を読み取りプレゼンを行う（中西・松井）						
6回	指定図書の精読③「病の語り」4～8章のうち学生が選択する章を読み取りプレゼンを行う（中西・松井）						
7回	指定図書の精読④「病の語り」4～8章のうち学生が選択する章を読み取りプレゼンを行う（中西・松井）						
8回	指定図書の精読④「病の語り」4～8章のうち学生が選択する章を読み取りプレゼンを行う（中西・松井）						
9回	文献レビューの方法・意義について教員が講義する（中西・松井）						
10回	ディスカッション学生がレビューしたいテーマ（概念）を絞る。（中西・松井）						
11回	学生が選択した概念についての文献レビューの結果をプレゼンする。（中西・松井）						
12回	学生が選択した概念についての文献レビューの結果をプレゼンする。（中西・松井）						
13回	学生が選択した概念についての文献レビューの結果をプレゼンする。（中西・松井）						
14回	学生が選択した概念についての文献レビューの結果をプレゼンする。（中西・松井）						
15回	論文クリティークの方法について教員が講義する。（中西・松井）						
16回	クリティークの実際を教員が紹介する。（中西・松井）						
17回	学生が読みたい論文①を選択し、クリティークの結果をプレゼンする。（中西・松井）						
18回	学生が読みたい論文①を選択し、クリティークの結果をプレゼンする。（中西・松井）						
19回	学生が読みたい論文②を選択し、クリティークの結果をプレゼンする。（中西・松井）						
20回	学生が読みたい論文②を選択し、クリティークの結果をプレゼンする。（中西・松井）						
21回	学生が読みたい論文③を選択し、クリティークの結果をプレゼンする。（中西・松井）						
22回	学生が読みたい論文③を選択し、クリティークの結果をプレゼンする。（中西・松井）						
23回	これまでの文献レビューや論文クリティーク等から研究課題の方向性についてディスカッションを行う。（中西・松井）						
24回	研究課題の予備演習として、課題についてフィールドスタディを企画するためのオリエンテーションを行う。（中西・松井）						
25回	学生が作成したフィールドスタディの企画書の検討を行う。（中西・松井）						
26回	学生が作成したフィールドスタディの企画書の検討を行う。（中西・松井）						
27回	学生はフィールドスタディを実施する。（中西・松井）						
28回	学生はフィールドスタディを実施する。（中西・松井）						
29回	フィールドスタディの結果を検討する。（中西・松井）						
30回	フィールドスタディの結果を検討する。（中西・松井）						
成績評価方法及び基準							
文献レビューのプレゼンテーション・討議（30%）、論文クリティークのプレゼンテーション・討論（30%）、フィールドスタディの計画・実施・結果レポート(40%)を総合して評価する。トータル60点以上を合格とする。							
教科書	大木秀一著：文献レビューのきほん、医歯薬出版。 アメリカ心理学会著、前田樹海・江藤裕之訳：APA論文作成マニュアル第3版 アーサー・クラインマン著、江口重幸他訳：病の語り、誠信書房。						
参考図書等							
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）							
学生のプレゼンテーション担当回については、事前の準備を行い、前日までに他の参加者に配布しておく。 プレゼン担当回でない学生は、配布された資料を読み込み、討議に参加できる準備をして望む。							
関連科目							
前科目	M213 成人看護学特論Ⅰ	M214 成人看護学特論Ⅱ	M215 成人看護学特論Ⅲ				
後科目	M227 特別研究Ⅰ	M228 特別研究Ⅱ					
実務家教員							
備考							